

冬の暮らしに潜む危険

冬には、凍結した路面での転倒や、雪かき時の事故などの危険があります。このページでは、冬を安全に過ごすための対策を紹介します。

[詳細](#) 雪対策室計画課 ☎211-2682

凍った歩道での転倒

昨年度に雪道で転倒して救急搬送された人は市内で800人以上。市では、人通りの多い歩道に滑り止め材をまくなどの対策をしていますが、皆さんも転倒を避けるための対策をお願いします。

滑りやすい場所を確認

段差がある場所、人や車で雪が踏み固められた場所などが危険

- 車の出入りのある部分
- バスやタクシーの乗降場所
- 地下鉄駅や地下街の出入り口付近
- 横断歩道
- ロードヒーティングと雪道の境目 など

歩き方を工夫しよう

小さい歩幅で、靴の裏全体を地面に付けて歩きます。時間に余裕を持って、ゆっくり歩くことも大切です。



滑りやすい場所に砂まきをしよう

滑り止め用の砂袋が入った砂箱を、人通りの多い交差点などに設置しています。砂をまくことで、自分だけでなく、後に通る人にも歩きやすい道になりますので、ぜひ活用してください。



▲誰でも使うことが可能。まくときの転倒にも注意を

除雪作業中の事故

雪かきなどの除雪作業中も、注意したい場面の1つ。作業に慣れていても、油断は禁物です。

過去に起こった事故を確認

命に関わる事故が発生

- 屋根の雪を下ろしているときに、屋根から落ちたり、はしごとと転倒したりする
- 軒下での作業中に、屋根から落ちた雪の下敷きになる
- 寒い環境で重労働をするため、作業中に心肺停止などで倒れる
- 除雪機に巻き込まれる など

全てできていますか？ 除雪作業前に注意点を確認しよう

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ☐ 除雪作業は家族や近所の人に声を掛けて2人以上で行う ☐ 気温が高い日は屋根から落雪しやすいので注意する ☐ 携帯電話を持っておく ☐ 準備運動をしてから作業し、疲れているときは作業しない ☐ 除雪道具は小まめに手入れ、点検する | <p>屋根の雪下ろしをするときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 低い屋根でも油断せず、命綱やヘルメットを着用する ☐ はしごは、建物に固定して足元を固める ☐ 建物の周りに雪を残してクッションにする <p>除雪機を使うときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 雪詰まりは、エンジンを切ってから取り除く |
|--|--|



参考：内閣府防災情報ホームページより「よくある除雪作業中の事故とその対策」